

- 大崎館長ご挨拶
- 電子ブックのご紹介
- 図書館からのお知らせ
図書館利用についてお願い ほか

大崎館長ご挨拶：大崎能伸教授(呼吸器センター)が就任されました。

図書館長の拝命は私にとって身に余る光栄であります。図書館長という職は、重責であることは想像することができます。しかし、私にとってはこれまでのキャリアとは全く異なる職務であり、この新しい職責を戸惑いながら果たしていくことになるであろうと思っています。

現在は、刻々と電子化の波が押し寄せて、PDF化した学術情報を電子端末で速読することが増えていると思います。私が所属する学会の学会誌も印刷物の出版を取りやめて電子ジャーナル化しているところが増えています。電子ジャーナルの利点は、検索が容易なことと、必要な情報を自身の端末にダウンロードできることではないかと思います。しかし、製本された学術情報でも検索情報誌に収載されればインターネットで検索できるし、PDFとして端末にダウンロードして閲覧することができます。皆さんの中にも、このようなサイトで論文を探し、携帯端末に入れて出張の移動中に読んでいる人も多いと思います。フォルダーを作って分野別、テーマ別にまとめて保存しているのではないかと思います。



論文が電子化されるようになって、多くの電子ジャーナルが出版されてきています。これらの中には、出版費用を請求することを目的にしたハゲタカジャーナルもあると報告されています (<https://poie.kumamoto-u.ac.jp/URA-web/tool/predatory%20journal.htm>)。ハゲタカジャーナルでは高い掲載料が請求されるばかりではなく、ここに掲載されることで研究者の評価が大きく損なわれます。学術誌が電子化される流れの中で、アカデミアの図書館の役割には、学術情報を蓄えてユーザーに提供することだけではなく、リジェクトが続いた論文をなんとか出版したいと努力している若い研究者に、論文のリバイスの助言をしたり、投稿先ジャーナルのクオリティーに関する正確な情報を提供するようなことも求められているのかもしれない。

今年の春に呼吸器内視鏡学会の気管支鏡テキスト第3版が出版されました。A4版で374ページの教科書です。私も執筆しましたが、担当は22,000字、原稿用紙55枚でした。気管支鏡の構造と取り扱いの項目が担当でした。発刊されたテキストを手にした時、電子ジャーナルに比べて、印刷されて製本された本の利点を改めて感じました。また、気管支鏡テキスト第1版、第2版、第3版と比較してみると、わが国で開発された気管支鏡をはじめとする呼吸器内視鏡の開発と臨床の歴史を目の当たりにしていることに気がつきます。電子ジャーナルの教科書も何編か持っていますが、端末のどこかに埋もれていて探すのが大変です。元のホームページにアクセスするのにパスワードが必要で、パスワードのスプーをかきまわして探し出さなければなりません。このような経験をしていると、電子ジャーナルはインターネットの海に沈み、製本された良書だけが歴史的な文献として残っていくような気がします。

歴史学者の磯田道史先生は、古文書を解説することで過去に埋もれた貴重な歴史を私たちに紹介してくれています。磯田氏は、古文書の情報が入るとすぐに読みに出かけるということです。磯田氏の著書によると、約300年間続いた江戸時代から明治維新への変動は一夜に全てが変わった革命ではないそうです。戦乱がなかった江戸時代に、庶民の文化が花開き、世界最大の都市である江戸が発展し、大都市であるにも関わらず、その都市計画により伝染病の大流行がなく、度々大火に見舞われはしましたが、いつも力強く立ち上がる仕組みができていました。この時代に発展した文化、習慣、産業が明治維新以降の日本を支える原動力になったようです。他人を思う心、真理を追求する探究心、控えめな振る舞いなど、人から人へ伝わった日本人の根幹を形成する性質が平和な300年の間に培われました。旭川医科大学の図書館には関場・鮫島文庫という、蔵志、解体新書、乳岩辨、虎狼痢治準をはじめとした1,300冊を超える資料があります。このような貴重な資料をアーカイブすることも図書館の大切な役割の一つだと思います。

旭川医科大学の図書館が、溢れる電子ジャーナルや印刷出版物の中から重要な資料を探し出して保存し、次世代に伝えるようなことにお手伝いできれば幸いです。

電子ブックのご紹介

図書館には沢山の本がありますが、電子ブックも所蔵しているのをご存じですか？ 学内のネットワークに接続していれば、簡単に読むことができます。また、今までDVDで販売されていた動画が、電子ブックとして視聴できるタイトルも新たに購入しました。館内の視聴覚ブースではない場所でも見ることができます。ぜひお試しください♪

電子ブックを探すには？

電子ブックの何が良いの？

【メリット】

- ・返却期限がない
- ・重い本を持ち歩かなくて良い
- ・印刷やダウンロードができるものもある
- ・大学の無線LAN(W-Fi)に接続していれば、スマホやタブレットでも読める

【デメリット】

- ・同時アクセス数の制限がある(ほとんどのタイトルは1)
- ・ネットワーク環境がないと読めない(DL済以外)
- ・画面が小さいと読みにくいものもある

DVDの動画が見られるタイトルを探すには？

①OPACで、キーワード：
医学映像教育センター
を入力して検索

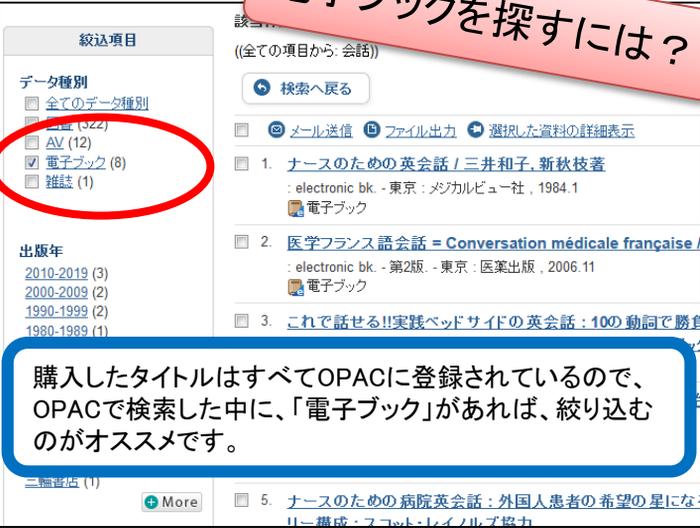
②画面左側の絞込項目から、
データ種別：電子ブック
で絞り込み

研修医の方向けや、看護学の
タイトルもあります！

6月の講習会・セミナー開催予定

詳細は、順次ポスター・図書館ホームページ等
でご案内します。

- 文献検索ガイダンス(和/洋)
6/4、6/25~7/30の毎週火曜日
図書館2階 パソコン室
【和雑誌文献コース】 13:20~14:20
【洋雑誌文献コース】 14:25~15:25
- 科学英語論文投稿セミナー
6/5(水) 17:00~18:00
図書館南棟 ディスカッションスペース
※2018年11月実施のものと同じ内容です。
- UpToDate説明会・登録会
6/19(水) 午後



購入したタイトルはすべてOPACに登録されているので、OPACで検索した中に、「電子ブック」があれば、絞り込むのがオススメです。

↓ 1年生にオススメ! ↓

目で見える医学の基礎 第2版(全13巻)



チーム医療スタッフに必要な解剖・生理・病態のベーシックな知識を、器官系別に、映像とCGアニメーションによって、よりわかりやすく解説しています。

人体を学ぶための理科(全9巻)



高校で理科を選択していなかったり、基礎の復習をしておきたい人に。生物・物理・化学について、各3巻で基礎を押さえる内容です。

図書館からのお知らせ

貸出期限の延長について

貸り出し中の資料は、予約が入ってない場合に限り期限を延長することができます。ご希望の際は返却期限までに、カウンターまたは自動貸出機で手続きをお願いします。返却期限が過ぎたもの、長期貸出の図書は延長できません。

今年度の試験期特別利用説明会を実施します

医学科1~4年、看護学科1~3年向けの特別利用説明会は6月中旬から下旬にかけて実施します。詳細は**5月下旬にメールで通知予定**です。特別利用を希望される方は、日程を確認のうえ必ず特別利用説明会へ参加してください。

この説明会に参加して申請手続きをすると、**8月30日(金)21時から**特別利用が許可されます。

メールでは追加説明会の日程も案内予定です。急病等で6月の説明会に参加できなかった場合は、追加説明会に参加してください。